

## 「JTの森鶴岡」森林ボランティア活動

10月30日（土）、鶴岡市の「いこいの村庄内」の南側松林内（私有保安林）で、手鋸による下刈及び除伐、残材の運搬集積等の森林ボランティア活動に参加しました。

24日は台風の余波が残るくもりの天気ですが10月末としては温かい天候に恵まれました。

この「JTの森鶴岡」森林ボランティア活動は平成21年から行っており、今秋で3回を数えました。このボランティアは、松くいや老朽化、手入れ不足により荒廃している庄内海岸砂防林を再生するために平成20年3月に策定された「庄内海岸松原再生計画」を推進するひとつの取組みとして、平成21年3月26日に日本たばこ産業株式会社、山形県、鶴岡市、下川生産森林組合の4者で結成した「JTの森鶴岡」森づくり協定に基づき、JT社員及び家族及び地域住民・農業関係者・地元小学校等による多様な主体による協働の森づくりを推進していくものです。

ボランティアの参加者は、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター2名、庄内森林管理署、山形県、鶴岡市、日本たばこ産業株式会社、下川生産森林組合、出羽庄内森林組合、東田川郡内にある森林組合・林業関係者等の176名の皆さんが参加しました。

参加者の皆さんは、1班から10班に分けられ、決められた作業場所で班長の指示のもと作業を行うことになりました。当センター職員の2名は、3班と4班の班長を仰せつかり、班員をケガさせることなく作業を完了させる重責を任されました。作業箇所には、タラノキなどのトゲのある木々や背丈より大きいカヤや低木の灌木が繁茂しており、手鋸による下刈及び除伐作業には不向きでした。しかし、各班の経験豊かな班長の戦略に乗せられた参加者達は、最初は、こんな手鋸では作業がはかどらないなど、厳しい意見もありましたが、作業が捗るのを見るや、安心したのか、やれば出来るという各班長のマジックにかかったようでした。参加者全員の頑張りで見違えるほど綺麗に生まれ変わり、参加者の皆さんの額には、うっすらとした汗で輝いていました。ターゲットゴルフの会員の方からは、いつも「いこいの村庄内」を利用しており、日本海から吹き付ける強い風からゴルフコース守ってくれているクロマツ林に恩返しが出来たと感謝の言葉がありました。また、JTの社員で家族で参加者さてた方は、庄内のクロマツ林が如何に大事な物であるかを知り、また来年の春に来て作業をしたいとの誓いの言葉もありました。

最後に、参加者全員が達成感から得られた笑顔記念撮影に納めボランティアが終了しました。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター